

平成 28 年度「若者世代による ESD 情報発信プロジェクト」（仮称） 実施概要（案）

1. 背景

ESD（Education for Sustainable Development）は世界中で取り組まれている持続可能な社会をつくるための人づくり、学び、教育の総称である。国連は 2005 年から 2014 年までを「国連 ESD の 10 年」とし、世界中で ESD に取り組んだ。2015 年からは後継プログラムとなる「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するグローバル・アクション・プログラム（GAP）」が開始され、我が国も引き続き ESD を一層推進すべく「我が国における『持続可能な開発のための教育（ESD）に関する グローバル・アクション・プログラム』実施計画（ESD 国内実施計画）」を策定した。この中で若者（ユース）は優先行動分野として示され、大きな期待が寄せられている。

ESD 活動支援センター（以下、「センター」）では、ESD 推進をユースが担う仕組みとして「若者世代による ESD 情報発信プロジェクト」（仮称）を創設する。本プロジェクトは、持続可能な社会づくりや ESD に取り組むユースが、自らの視点で地域の ESD への気づきを得て、学び、センターのウェブサイト等を通じて発信していくプロジェクトであり、本年度は試行的に実施する。

本プロジェクトに参加するユースを「社会人ユース ESD レポーター」とし、公募を経て選考する。

注) 本プロジェクトは環境省が広報・メディア専門家等との協働で別途行う「大学生等による ESD・環境教育『見える化』レポート・プロジェクト」と連携して行う。

2. プロジェクトの目的

- ユースが ESD について情報発信することで、ESD の魅力を伝え、関心層を広げる。
- ユースが身近な ESD に関心を持ち、学び、レポート執筆等に取り組むことで、ESD の担い手となるユースの情報発信力や連携スキルを強化する。
- ユースが研修や ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（仮称）（以下、「全国フォーラム」）等で交流することで、ESD の担い手となるユースのネットワーク形成につなげる。

3. プロジェクトの概要

1) 社会人ユース ESD レポーターの募集対象

年齢 18 歳から 35 歳までの社会人

（学生は対象外。20 歳未満の応募者は親権者の同意書が必要。）

2) 募集と選考

- 全国を対象に、センターのウェブサイト等で公募を行い、関係機関・団体の協力を得て周知する。
- 地方環境事務所及び環境パートナーシップオフィス（EPO）の助言を得て、文部科学省・環境省担当官と相談の上、8 ブロック（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州）から 1~2 名、合計 10 名程度を選

考する。

- 選考されたユースは社会人ユース ESD レポーターとしてセンターが委嘱する。

3) 社会人ユース ESD レポーターの活動

11月25日（金）社会人ユース ESD レポーター研修への参加

11月26日（土）全国フォーラムへの参加

11月26日（土）以降

自らの視点でレポート執筆、センターのウェブサイトのコンテンツ「若者目線（仮称）」へ掲載

注) 次年度以降は、毎年あらたなユースを募集しつつ、前年次のユースには、任意で継続して情報発信を担っていただき、ユースの発信力強化とユース間のネットワークを深めていくことを目指している。

4) 発信内容

- 地域の ESD 事例をヒアリングしたレポート記事。（800字程度。少なくとも事例一件。）
- 自由な視点で、自由形式（文字数自由）の発信、（全国フォーラム参加についての発信を必ず含むこと）、その他自らの視点で地域の ESD に関する記事を発信。画像やイラスト等も活用する。
例)・自らの仕事や暮らしの中にある ESD
 - ・ESD に取り組む人・コミュニティなど、自らが知りたいと思い理解を深めたこと
 - ・参加したイベントやセミナー

5) 社会人ユース ESD レポーターの支援の仕組み

①社会人ユース ESD レポーター研修の開催

②全国フォーラムへの参加機会及び活動周知の機会提供

③センタースタッフ等による情報発信内容に関する個別アドバイス

④ヒアリングのための移動に際しては、別途定める規程に従って旅費を支給

※研修及び全国フォーラム参加に伴う旅費はセンターが支給する。

※執筆謝金は支払わない。

4. 実施スケジュール

9月中旬	募集要項確定、公募開始
10月中旬	募集締め切り
10月下旬～11月上旬	選考、決定、委嘱
11月25日（金）	社会人ユース ESD レポーター研修 (会場 GEOC、2.5 時間程度)
11月26日（土）	全国フォーラム (会場:国立オリンピック記念青少年総合センター、全日) センターのウェブサイトで発信開始